

ブリリアントコールの21

メス 2021年5月8日生 | 栗毛 | 浦和・野口寛仁厩舎 | 村上雅規生産



一口価格：13,200円

※地方募集馬は競走馬保険の加入はありません

募集口数：500口【競走馬出資金総額 660万円】



POINT

初仔の牝馬ということもありサイズ感は小ぶりですが、歩きを見るとキビキビとしており運動神経の良さを垣間見せます。パワーよりもスピードに秀でたタイプに映りますが、成長とともに筋肉量が増してくれば頼もしい走りが見られるようになるでしょう。祖母は芝の短距離で活躍し、その産駒はモンドキャンノに代表されるようにスプリント色が濃く、本馬の父はマイラーとして活躍したカレンブラックヒル。短距離戦の中でも距離に選択肢が多い地方競馬所属というのは大きなメリットでしょう。スピードを武器に南関東の短距離界での出世を狙います。

治郎丸敬之の馬体診断

カレンブラックヒルはダイワメジャーの後継種牡馬の1頭ですが、両者はタイプが異なります。ダイワメジャーは筋肉量が豊富でゴツゴツしていて、仕上がりが早い分、成長力に欠ける産駒が多いのに対し、カレンブラックヒルは筋肉量こそ多いものの、筋線維が細かく、筋肉が柔らかくて、しなやかな馬体の産駒が出ています。ブリリアントコールの21にはまさにカレンブラックヒルの筋肉の柔らかさが伝わっていますし、皮膚が薄いのにも好感が持てます。あどけなさの残る表情からは気性の素直さが見て取れますね。母系に目を移してみると、母ブリリアントコールは1戦だけ走って引退してしまっただけで未知ですが、祖母レイズアンドコールは芝の短距離で5勝を挙げた実力馬でした。そして、この母系に共通しているのは馬格の小ささです。フレーム自体は小さいので、全体的な馬体重こそ重くはなりませんが、しっかりと実が詰まって、小粒でもピリリと辛いのが典型的です。距離はマイルがベストでしょうが、筋肉の柔らかさや気性を考えると、もう少し延びても問題ないでしょう。芝も走るタイプですから、ダートで勝ち星を積み重ねて、中央の芝に挑戦などという未来を期待しましょう。

※測尺・馬体重はHPで最新情報をご覧ください。